

インクル

NO. 2 令和6年9月10日(火)発行



発行 北海道七飯養護学校
七飯町立七飯中学校

9月に入り、徐々に秋めいてきたようにも感じますが、まだまだ、残暑厳しい日が続きます。そんな今日この頃ではありますが、どの子どもも暑さに負けず、2学期の学習や生活に毎日一生懸命取り組んでいます。

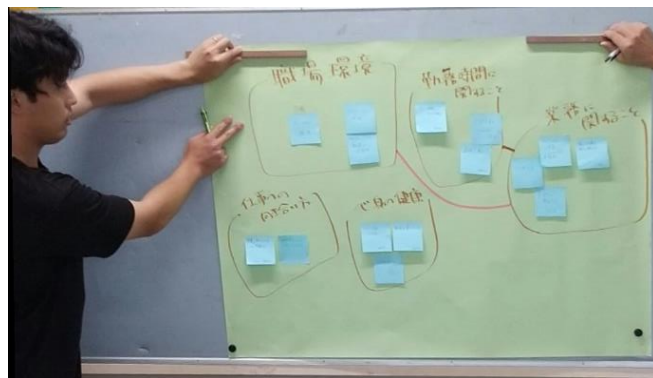
さて、文部科学省の指定を受けている「インクルーシブな学校運営モデル事業」の取組ですが、7月と8月に「初任段階研修」「第1回合同校内研修」の2つの事業を行いましたので報告いたします。

初任段階研修

7月22日に七飯養護学校を会場に教員経験2～4年次の先生方15名（七飯養護学校14名、七飯中学校1名）が集まり、七飯養護学校研究部の先生の指導の下、約1時間の初任段階研修を行いました。研修は研究部より示されたテーマ「子どもたちの指導の充実を図るための働き方を目指して～元気に子どもたちの前に立つために～」について協議がなされました。

5人ずつのグループに分かれ、それぞれのグループで司会等の役割分担をしながら、互いの意見を積極的に出し合い、どのグループも手際よくグループとしての考えをまとめていました。最後に、三つのグループそれぞれから、自分たちの考えを模造紙にまとめたものを発表し合い、研修を終えました。若い先生方ならではの活気に満ちた実りある研修会となりました。七飯中学校から参加した教職経験2年目の先生も「普段は若い先生が少ないので、今日は若い先生と話すことができて良かったです。」と、笑顔で話していました。参加した先生方のアンケートでも、全ての先生が「今回の研修は有意義だった。」「大変良かった」と、答えていました。

次回の研修は12月ですが、さらに実りあるものとなるよう研鑽を積んでほしいと思います。



第1回合同校内研修会

8月28日には、本モデル事業の教職員に関わるメイン事業である「合同校内研修会」の第1回目が左のような内容で行われました。七飯町文化センターを会場に、七飯養護学校76名、七飯中学校21名、合計97名の

- | | |
|----------|---|
| 1 開会挨拶 | 七飯養護学校長 北嶋公博 |
| 2 説明 | 公務及び授業におけるICTの活用について（七飯中） |
| 3 話題提供 | 七飯養護学校長 北嶋公博 |
| 4 グループ交流 | 特別支援教育等の実践上における失敗談、成功談、悩み、子どもの関わりから学んだことの交流 |
| 5 感想交流 | Google フォームを活用して |
| 6 閉会挨拶 | 七飯中学校長 細川和成 |

先生方が一堂に会して研修しました。始めに、七飯養護学校北嶋校長より開会に当たっての挨拶があり、続いて、七飯中学校から「公務及び授業におけるICTの活用」という内容で日常実践の様子を発表していただきました。授業におけるクロームブックの効果的な活用の仕方、ICTを活用した効率的な業務処理等について丁寧に説明していただき、大変有意義な研修となりました。先生方の感想でも、「七飯中学校のクロームブックの活用が聞けて有意義だった。」「実際に活用しているチャットやクラスルームを見

ることができて良かった。」等の声があり、良い研修となりました。発表いただいた高橋慎吾先生、越智先生ありがとうございました。

続いてのグループ交流は、4～5人ずつの20グループに分かれ、テーマを「特別支援教育の奥深さや教育者としての成長につながったこと」とし、失敗したことや悩んできたこと、自分の考えの間違いに気付けたこと等の宝物のようなエピソードを交流することになります。その前段に話題提供として北嶋校長より、学級担任をしていた若い頃の苦労話や最近あったエピソードなど、たいへん貴重なお話をいただきました。

その後、グループごとの交流に入りました。両校の連携を深めるためにどのグループにも両校の先生が入るようにしました。そして、肩の力を抜いて、ざっくばらんに交流できるよう、一人ずつ「お勧めのお店」の紹介から入りました。函館市や七飯町、北斗市、森町等の様々なお店が紹介され、たいへん和やかな雰囲気での交流がなされました。最後に、七飯中学校細川校長より、今後の本事業に対する期待を込めた挨拶で会を閉じました。以下、各グループの話題や研修会に対する感想の一部を紹介します。

<グループ交流での話題>

- 逃避行動のある児童生徒へのアプローチについて
- 特別支援教育のギャップ、視点を変えることの大切さ
- 特別支援学級の実態について（障がいの程度、保護者との関わり）
- 不登校生徒、保護者への対応について
- 小中学校でのグレーな子、支援が必要な子の増加について
- 自閉症のある児童や集団の中で目立つ生徒、ダウン症のある生徒との関わり方について
- 偏食の子どもに対する対応について
- 個別最適な学び、個々の能力の見分け方について
- 言葉掛けが失敗した経験談や教師自身の精神状態が子どもに伝わるのかと思われる体験の交流
- クロームブックの使い方について
- 保護者対応（親の希望と子の実態が違って板挟み）について
- 生徒とのコミュニケーションの大切さについて
- 重度知的自閉症のある子どもへの対応について
- グレーゾーンの生徒や高機能自閉症の生徒の対応について

研修会に対する感想

- ・失敗談よりもうれしかったエピソードの交流が多くできたので、感動したりうれしかったりと、あっという間の30分間でした。
- ・特別支援教育の指導や支援について困り感や成功体験などを交流できて良かった。
- ・普段関わることのない方と話せることが、とても貴重な時間となりました。
- ・特別支援教育とともに、教員ならではの悩みも共有できて楽しかったです。
- ・普段交流のない学校の方と交流することができ、足りない視点を補うことができた。
- ・先輩方の失敗談と成功談が聞けて、自分だけではなかったんだなあと安心しました。
- ・特別支援学校の先生との交流は初めてで、とても新鮮でした。

<今後の主な予定>

- ◇ 9月30日（月）第2回連携協議会
- ◇ 11月26日（火）交流及び共同学習（1回目）
- ◇ 12月 3日（火）交流及び共同学習（2回目）
- ◇ 12月13日（金）交流及び共同学習（3回目）
- ※ 交流及び共同学習は七飯養護学校中学部第1学年と七飯中学校第1学年との交流です。1回目はオンラインで行い、2回目と3回目は七飯中学校の体育館で行います。

（文責：佐藤耕一カリキュラム・マネージャー）

